



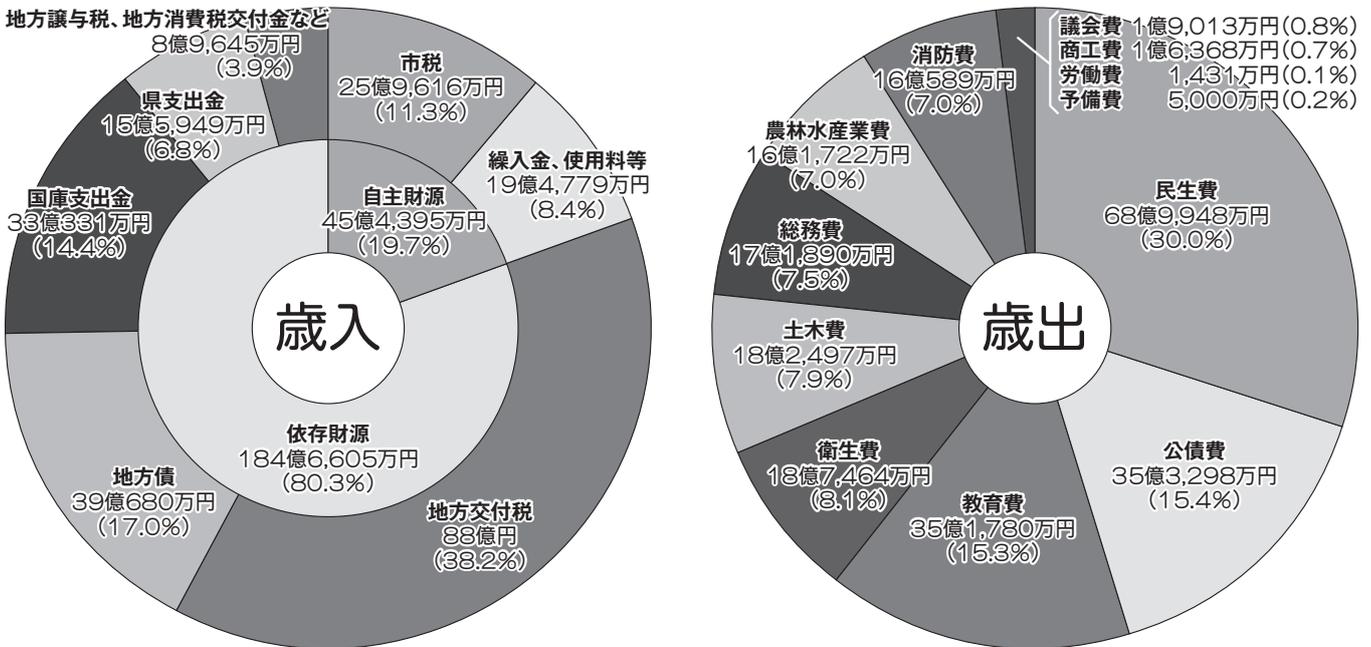
令和3年度 当初予算

一般会計 230.1億円

■前年度比25億7千万円の減（▲10.0%）

令和2年度で一般廃棄物最終処分場、消防再編庁舎、公営住宅（桜木団地）の建設事業が完了したことなどにより、4年ぶりの減額となりました。

予算の編成にあたっては、主たる財源である地方交付税が減額されていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で地方財政が厳しさを増す見込みであることを踏まえつつ、「人口減少・少子高齢化対策」「健康づくり対策の充実」「魅力ある農業の推進」を重点課題として予算配分しています。



グラフの用語解説

歳入

- 〔繰入金〕基金や他の会計から補充するお金
- 〔使用料等〕市の施設の使用料など
- 〔地方交付税〕地方自治体の財政運営の均衡をとるため国から交付されるお金
- 〔地方債〕国や銀行などから借りるお金
- 〔国庫支出金〕特定の目的の財源として国から交付されるお金
- 〔県支出金〕特定の目的の財源として県から交付されるお金
- 〔地方譲与税〕一度国税として徴収され、その後市町村に分配されるお金
- 〔地方消費税交付金〕消費税の一部を財源として国から交付されるお金

歳出

- 〔民生費〕福祉や年金、医療、保育所運営など
- 〔公債費〕市の借入金(市債)の元金や利子の償還金
- 〔教育費〕小中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興など
- 〔衛生費〕各種健(検)診や予防接種などの保健関係、ゴミやし尿の処理など
- 〔土木費〕道路や住宅などの整備や除雪対策
- 〔総務費〕一般的な管理業務や財政、財産管理、徴税、選挙など
- 〔農林水産業費〕農林水産業の振興や農道などの整備
- 〔消防費〕消防、防災、災害対策など
- 〔議会費〕市議会の運営
- 〔商工費〕商工業や観光の振興
- 〔労働費〕雇用の安定
- 〔予備費〕予算外の支出および予算を超えた支出への対応

一般会計予算は、このように使われます

市民1人当たり **734,369円** (2月末の人口31,333人で計算)

民生費 220,198円

子育て支援、
高齢者福祉など



公債費 112,756円

市債の返済



教育費 112,271円

学校教育や
文化振興など



衛生費 59,830円

疾病予防、
ごみ処理など



土木費 58,244円

道路の整備、
除排雪など



総務費 54,859円

地域振興、選挙、
庁舎管理など



農林水産業費 51,614円

農業や水産業
などの振興



消防費 51,252円

消防、救急、
災害対策など



その他 13,345円

議会費、商工費、
労働費など



市債(地方債)残高の状況

令和3年度
市債返済額

35.3億円

令和3年度末の
市債残高見込み

400.4億円

市債とは、市の借金のことです。

建設事業には多額の資金が必要となります。それを1年分の税収などでまかなうことは難しく、また世代間負担の公平性の観点からも好ましくないため、市債を発行して計画的に資金の調達を行うものです。

一般家庭において、自宅や車を購入する際に、ローンを利用するのと同じことです。

一見、莫大な金額に見えますが、返済に充てるためのお金は、国が一定割合を補てんしてくれるため、市の実質的な負担は3割程度となります。

特別会計

一般会計とは別に、特定の事業における収入と支出を経理する会計です

国民健康保険

予算額 41億6,016万円 (前年度比1.5%増)

後期高齢者医療

予算額 7億6,714万円 (前年度比3.1%減)

介護保険

予算額 47億5,983万円 (前年度比2.7%増)

公営企業会計

企業会計を適用し、経営状況・資産の的確な把握による経営効率化を目的とした会計です。

下水道事業

事業収益 12億2,050万円 (前年度比 7.3%増)

事業費用 12億2,050万円 (前年度比 7.3%増)

資本的収入 6億3,095万円 (前年度比10.7%増)

資本的支出 10億4,363万円 (前年度比 8.4%増)



どんな事業にどれくらいの予算を使うのか、主なものを市総合計画8つの基本政策に合わせて紹介します。

地域で支え合うまちづくり

■児童福祉対策事業

予算額 **5億3,271万円**

児童手当、児童扶養手当の支給などを行います。

■高齢者福祉対策事業

予算額 **14億5,309万円**

高齢者の生活支援、生きがいや健康づくりの推進、介護サービスの給付、医療費の給付を行います。

■障害福祉対策事業

予算額 **12億9,371万円**

障害がある方の生活をサポートするため、介護支援や就労支援、医療費の給付などを行います。

■生活保護費

予算額 **9億6,995万円**

生活に困窮する世帯に対して必要な保護を行い、自立に向けた継続的な支援を行います。

やすらぎと安心のあるまちづくり

■防災備蓄倉庫・ヘリポート整備事業

予算額 **3億3,245万円**

防衛省の補助金を活用して、総合体育館の隣接地に防災備蓄倉庫とヘリポートを整備します（事業期間は令和2年度～4年度。総事業費8.4億円）。



■防災対策事業

予算額 **9,746万円**

新しい防災ハザードマップの作成や防災行政用無線の改修などを行い、防災対策の強化を図ります。



※写真は現行版です

未来を担う人と文化を育むまちづくり

■総合体育館建設事業

予算額 **16億2,414万円**

市民の健康増進、生涯スポーツの振興や防災の拠点となる総合体育館を建設します（事業期間は平成30年度～令和5年度。総事業費74億円）。



■世界遺産登録記念事業

予算額 **423万円**

世界文化遺産登録の期待が高まる「北海道北東北の縄文遺跡群」。決定の瞬間を共に祝うため、世界遺産委員会の審議をパブリックビューイングで公開します。また、世界遺産登録記念イベントを開催します。



協働のまちづくり

■東京事務所運営費

予算額 **5,450万円**

果房メロンとロマンの運営のほか、企業誘致や移住定住などに関して首都圏と本市をつなぐ活動を展開します。今年度は新たに、水耕栽培メロンを使ったマーケティング調査、新メニューの開発、PR事業を実施します。



今年度の主な取り組み

若者が集まるまちづくり

■地方創生事業

予算額 **3,275万円**

人口減少を食い止めるための施策として、移住者への家賃補助、結婚を希望する男女の応援、空き家活用の推進などを実施します。

今年度は新たに、新婚生活をスタートさせる夫婦に対し、住宅の取得や引っ越し費用等の一部を助成します。



■乳幼児・子ども医療費助成事業

予算額 **7,811万円**

子育て世帯における経済的負担を軽減し、子どもたちの健やかな成長を促すため、中学生までの子どもの医療費を全額助成します（保険適用分）。

■保育所等第2子以降支援事業

予算額 **2,917万円**

第2子以降の認定こども園や保育所の利用者負担額を全額助成します。

活力あふれるまちづくり

■つがるブランド推進事業

予算額 **3,550万円**

県内外でのPR活動などを通してブランドの構築と認知度向上を図ります。また、メロン水耕栽培実証試験にも取り組みます。



■農山漁村活性化事業基金造成

予算額 **1億500万円**

風力発電事業者「グリーンパワーインベストメント」「まほろば風力発電」からの寄附金1億500万円で農林水産業の振興を目的とした基金を造成します。また、その基金を活用してスマート農業推進施設や暗渠排水施設の整備を行います（令和3年度事業費3,100万円）。



利便性の高いまちづくり

■道路橋梁事業

予算額 **6億1,023万円**

市道の新設改良・維持・整備をします（稲盛芦沼線、曙森本線、豊富18号線など）。

■除雪対策事業

予算額 **4億8,783万円**

市内全域の除雪・排雪・防雪対策を図ります。また、丸山蓮花田線に新たに防雪柵を設置します。

健やかに暮らせるまちづくり

■市民特別健診事業

予算額 **8,437万円**

40歳以上の方を対象に、胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮頸がん・乳がんに係る集団および個別健診費用の全額を助成します。また、妊婦健康診査の費用についても、一部を助成します。

■子どもインフルエンザ予防接種事業

予算額 **1,700万円**

中学生までのインフルエンザ予防接種費用の全額を助成します。

